

国際シンポジウム

カワウとのつきあい方

～アメリカ・ヨーロッパの取り組みから考えるウの管理～

アメリカ西海岸のミミヒメウ

日本のカワウ

日時：2015年 **7月25日** **土**

13時～17時10分

(開場：12時30分より)

場所：滋賀県立琵琶湖博物館 ホール
参加無料(申込要、展示観覧は有料)

● 申込・問い合わせ先

ホームページ、電子メール、FAX、ハガキにて、お名前・ご住所・電話番号・メールアドレスを明記の上、NPO法人バードリサーチまでお申込みください。

申込締切：2015年**7月15日(水)**

※ただし定員(200名)になり次第、受付を終了します。

〒183-0034 東京都府中市住吉町1-29-9

NPO法人バードリサーチ ウ類国際シンポジウム事務局 宛

※メールタイトルは「ウ類国際シンポジウム参加申し込み」としてください。

E-mail : kato@bird-research.jp Fax : 042-401-8661

ホームページ :

http://www.bird-research.jp/1_katsudo/kawau/sympo.html



近年、世界的にカワウやミミヒメウなどの個体数が回復し、それに伴う放流魚の採食や糞による生活被害が問題となっています。日本でもそうしたカワウとのあつき解消のための対策や管理が進められています。

このシンポジウムでは、これまで行われてきた取り組みを振り返るとともに、日本と同様にウ類の管理が行われているアメリカ・ヨーロッパの状況について、その歴史や先進的な事例について現地の研究者に紹介いただき、今後のウの管理について考えます。

主催：



環境省

Ministry of the Environment

後援：



滋賀県

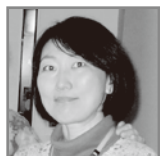
Shiga prefecture

プログラム

12:30- 開場(琵琶湖博物館ホール)

◇開会のあいさつ 13:00- 篠原 徹(琵琶湖博物館館長)

◆テーマ1 <歴史的変遷と管理のあり方> 13:05-



亀田 佳代子(琵琶湖博物館)

「日本におけるカワウ保護
管理の現状と課題」



Linda R. Wires (アメリカ合衆国魚類野生生物局)

「アメリカ中央部のミミヒメウ管理の
歴史的変遷と課題」

◆テーマ2 <被害対策と個体群管理> 14:10-



坪井潤一(水産総合研究センター)

「日本の内水面漁業に
おける被害と対策」



Daniel D. Roby (オレゴン州立大学)

「アメリカ西部のミミヒメウ管理の
最前線」

◆テーマ3 <情報共有と広域連携> 15:15-



山本 麻希(長岡技術科学大学)

「地域と広域 カワウ個体群
管理の考え方」



David N. Carss (英国生態学水文学研究センター)

「ヨーロッパのカワウ管理システムと体制」

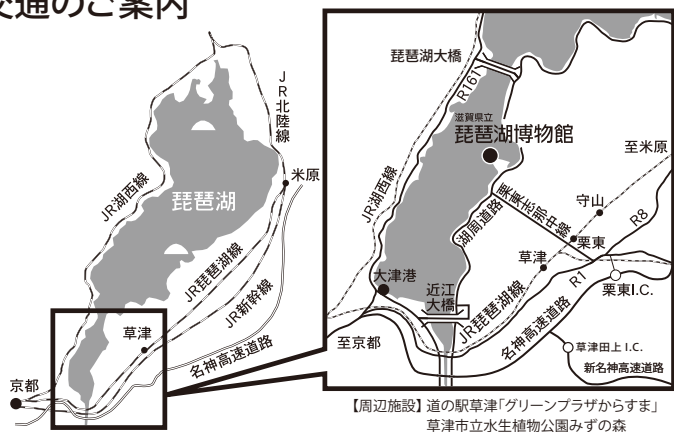
<質疑とまとめ> 16:25-

「日本のカワウ管理の課題克服に向けて」 司会: 亀田 佳代子

◇閉会のあいさつ 17:00- 秀田 智彦(環境省 近畿地方環境事務所長)

※琵琶湖博物館→草津駅西口(近江鉄道バス) 17:30-、18:24-(土日ダイヤ)

■交通のご案内



- バスでは、JR草津駅西口から近江鉄道バス「からすま半島」行きで「琵琶湖博物館」下車。約25分。
- タクシーでは、JR草津駅、守山駅から約20分。
- お車では、名神高速道路「栗東I.C.」から国道1号線→栗東志那中線→湖周道路→烏丸半島へ(「栗東I.C.」から約25分)。「吹田I.C.」から約70分。「京都南I.C.」から約50分。
- 航路では、琵琶湖汽船チャトルボートで「大津港」「雄琴温泉港」「琵琶湖大橋港」から「草津烏丸半島港」へ(運航日は要問合せ)。

■会場のご案内(琵琶湖博物館 館内図)

